

視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○(42)

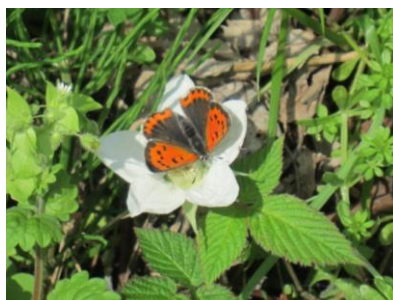
図鑑を見ていると、チョウやガの場合、翅の表と裏が描かれている場合と、どちらかだけの場合があります。識別したいとき、翅を閉じている時に見えている方と、開いている時に見えている方と、どちらが表か裏か迷うことがあります。特にガの場合普通見かける面と、図鑑に描かれている様子が違って迷います。

チョウの場合、翅を合わせて休んでいる時に見えているのは、裏が見えているのですよね。休んでいる時は目立たない方が良くからカモフラージュを兼ねたような目立たない色になっているという事でしょうか。一方、羽根を広げて日向ぼっこをしているようなときに見える面が表という事になるのですね。内側が表。色や模様には仲間へのアピールや他への脅しや、様々な役割があるのですが、表と裏で色や模様が全く違うことが多く、それぞれ役割がありそうで、面白いなと思いました。

翼を持つ鳥の場合、その裏側の色や模様が何かを主張しているというのは無い(?)様な気はしますが、どうなのでしょう。確かに、タカの仲間が飛翔している時、下から見る人間にとってその模様は識別の参考にはなっていますが。＜さんじゃく＞



○クロコノマチョウ



○ベニシジミ春型



○ベニシジミ夏型



○ウラナミジャノメ



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(向)クラブード内 TEL & FAX : 092-400-1765
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 97★

春日公園で、夏の林で生きものを
ゆっくりと観察します。

★日時 6月15日(土)

集合10時～解散12時半頃

★場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

6/16（日）7/21日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

6/23（日）7/28（日）
久末ダム探鳥会（福岡市）
時 間：8:00～11:00（夏時間）
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

7/7（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

7/13（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

7/14（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

7/2（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

福岡植物友の会

6/23（日）
延命公園（大牟田市）
時 間：9:00～12:00
集 合：
問合せ：0944-58-1672
（野田達行）

6/16（日）
井野山（宇美町）と
問合せ：佃 昇（092-662-2983）
要予約
参加は有料 詳細はお問合せ下さい



ヨツボシテントウ 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

7/6（第1土曜日）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
参加された方には新しい「自然観察マップ」も差し上げます。

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています



ナラワカメハナツボタマフシ 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

6/22（土）
定例会議
時 間：10:30～13:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6/22（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



三国丘陵の自然を楽しむ会
観察の様子

2019年5月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、5月1日(旧暦3月27日)～5月31日(旧暦4月27日)までのデジカメ日誌です。



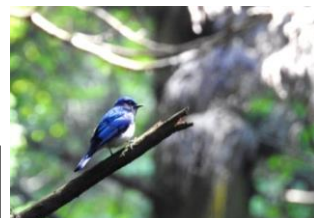
5月2日(旧暦3月28日) 那珂川市五ヶ山
ヤマフジが美しい季節だ。ノダフジとはツルの巻き方が逆だと、昔教わった。確か左手親指の方向がヤマフジ。写真右はカメノコテントウ。1cm以上ありそう。



5月2日(旧暦3月28日) 佐賀県神埼市脊振町
背振山頂下駐車場近くの登山道に、シロバナニシキゴロモを観た。キラソウに似ているが上唇が兎の耳。



5月2日(旧暦3月28日)
佐賀県神埼市脊振町
浄徳寺の樹齢400年の弁財天石楠花。境内の石楠花は満開だが、この古樹は、まだ蕾。林内ではキビタキが元気。



5月3日(旧暦3月9日)
筑紫野市地蔵川上流
今年もオオルリが来た。2個体が競っていた。



5月8日(旧暦4月4日) 鳥栖市城山
4/27にまだ蕾であったサクラツツジが開花していた。以前千株あったものが、史跡整備で百株まで減少したらしい。私達が観ることが出来たのは2株のみであった。

5月19日(旧暦4月15日)
筑紫野市天拝公園
図鑑によるとチャボヒゲナガカミキリか？コナラなどの広葉樹が食草らしい。

くすのき 2019年6月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

5月25日(旧暦4月21日)
筑紫野市天拝坂 門扉に張り付いていたスギドクガ上に突き出た前足が毛むくじら



5月2日(旧暦3月28日) 佐賀県神埼市脊振町背振山
(左)シロモジ、(右)コバノミツバツツジの花。まだ20代の頃、背振山系の鬼が鼻を登り、尾根に出たときのミツバツツジの花の色の優しさが、最初の出会いであった。

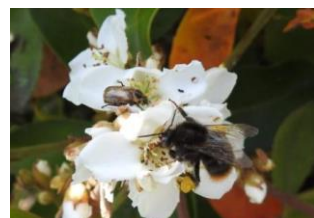


5月2日(旧暦3月28日) 佐賀県神埼市脊振町背振山
(左)シラフシロオビナミシャク、翼開長2.5cmほどの小さな蛾である。アジサイが食草。(右)セアカツノカメムシと思われる。普通種だけど色はきれいだ。



5月4日(旧暦3月10日)
福津市津屋崎橋
コシアカツバメを久しぶりに観た。

5月4日(旧暦3月10日)
福津市塩浜
ヘラサギの採餌。このあと泥の上でも採餌した。



5月4日(旧暦3月10日)
福津市あんの里
手前はコマルハナバチ♀か？奥はセマダラコガネ？花はシャリンバイ。

5月6日(旧暦4月2日)
筑紫野市天拝坂
今年も父の祥月命日に咲いたオオヤマレンゲ。直前まで固い蕾だったが、咲く時を忘れない。



5月28日(旧暦4月24日) 滋賀県甲賀市土山SA 家内が女子トイレの壁で撮影。(左)スジベニコケガ 背中の顔模様が可愛い。(右)ナミガタシロナミシャク

春日公園「自然観察会」実施報告 2019年5月18日(土) 10:00~12:30

天気 晴れ 参加者数 2人 担当者と報告 田村耕作(ナイス福岡)

コース 自然あそび館～調整池周辺～自然あそび館

- ・自然あそび館の周辺で、草本の仲間、垣根の樹木などを観察した。
- ・地面に張り付くような草(3月の観察会で何かな?)を観察した。2ヶ月経ち、メリケントキンソウと判明した。硬い棘が特徴で、すでに種ができつつあり、そのまわりにちいさな棘が出来つつあった。
- ・調整池の小さな用水路には、チドメグサの仲間が広がりを見せていた。調べるとウチワゼニクサ(外来種で繁殖力旺盛)という。用水路内の姿と地面での姿が異なり、興味深かった。
- ・ハマヒサカキを中心とした小さな垣根(剪定され、決まった形状)に、他の樹木が芽生えていて興味深かった。どんな樹木があるか観察すると10種を数えた。トベラ・ネズミモチ・ヤマザクラ・ナワシログミ・シャリンバイ・クロガネモチ・クヌギ・スダジイ・ヒメユズリハ・ホルトノキ。
- ・用水路の側面でじーっとしているシオカラトンボ(♀)を見かけた。羽化直後のようだ。もう少しで飛び立つか?



会員さんからの投稿

★ 和白干潟の自然観察会ガイドを育成するための講習会「カニの生態を学ぼう!」

自然を体験して学習します。参加をお待ちしています。(初心者歓迎)

・とき: 2019年6月30日(日) 14:00~17:00

受付: 13:30 中潮 満潮 7:33 干潮 14:9

・集合: 和白干潟を守る会事務所(和白 1-14-37、海のきりえ館1階)

・講師: 古賀 庸憲 氏: 和歌山大学教育学部 教授

・持ち物: 筆記具、スコップ(移植ごと)、ルーペ、飲み物、(あれば) 双眼鏡

・服装: 長袖、長ズボン、帽子、長靴

★募集: 20名。講習は室内とフィールドの両方あります。

★参加費: 300円

★主催: 和白干潟を守る会: 福岡市東区和白 1-14-37 山本方 TEL/FAX092-606-0012

★申し込み・お問い合わせ: TEL: 090-8412-2663 山之内



アシハラガニ

★「南公園で里山ボランティアがはじまりました」

福岡市は、市街地に何箇所も森(特別緑地保全地区など)を守り残していますが、放ったらかしで荒れたり、枯れ木が増えたりしています。そこをなんとかしようと、NPO 法人グリーンシティ福岡と福岡市(植物園、みどり運営課)が共働で取り組むのが「まちなか里山事業」です。

手始めに、南公園で「植物園里山ボランティア」の活動を開始しました。

第1回の5月18日は小雨だったので、雨の森の観察と、外来種のノハカタカラクサの駆除を行いました。今後、隔月で森の観察や手入れの活動、切った木でのクラフトなどを行なっていきます。

次回は7月20日の予定ですので、ご興味ある方はお知らせ

ください! メール: info@greencity-f.org 電話: 092-215-3913

(志賀壮史(会員)/NPO 法人グリーンシティ福岡)



報告「生きものと私たちの暮らし展(5/22～5/28)」

5月22日は「国際生物多様性の日」ということで、毎年この時期に福岡市（環境調整課）主催で表題のパネル展が行われています。

日時：令和元年5月22日～5月28日 場所：福岡市役所1階ロビー
ナイス福岡はもちろん、ふくおか近郊で活動する環境団体や環境関連の施設、環境省や福岡県が、パネルや写真を用意して一般市民向けにPRや活動紹介を行いました。

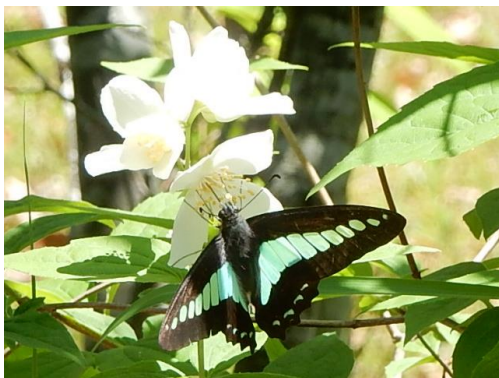
私は運営のお手伝いをさせていただきましたが、みんなでワイワイ設営したり撤収したりするのは楽しいですね。パネル展をご覧いただいた方の数は、推計ですが約2,500人です。各団体の参加者や支援者の増加につながるいいなと思っています。（志賀壮史（ナイス会員）／NPO 法人グリーンシティ福岡）



窓越しの自然観察 ③⑩ ～ 一期一会 ④ ～

五月、ウツギをあちこちに見かけるようになります。庭のバイカウツギには、めずらしくアオスジアゲハの姿。

すきま植物は毎年、手を替え、品を替え、様々な姿を見せ、ある意味野草見本市。種類も数もしかと確かめられないまゝ、綺麗に除草されてしまいます。



ダムサイト住人 2019/6/5 記)

苔の観察会 その2

4/21（日）の苔の観察会の報告の続きです。

観察した苔の中から上手く撮影できたものを紹介します。提供していただいた画像の撮影は荒牧源実氏です。モジゴケは白い紙の上をはったような絵文字、コウロコダイダイゴケは、大きな石やコンクリートにオレンジ色が目立っています。この生きものたちもお互いつながりあって、命をつなげています。

小さな小さな生きものの世界に、関心を持っていただければと思います。田字草



1 モジゴケ



2 ナミチャシブゴケ



3 コゴメゴケ



4 コウロコダイダイゴケ



5 コモチイトゴケ

ナイス福岡 定例総会の案内

場所：まもる一む福岡 福岡市中央区地行浜2丁目1-34（福岡市保健環境研究所）下記の地図参照

地下鉄唐人町駅から徒歩14分、西鉄バス「ヤフオクドーム前」バス停から徒歩4分

駐車場：乗用車9～14台

期日：2019年6月29日（土）10時30分から15時まで

内容 10時30分～12時 自然観察会

テーマと案内人 松林でできる自然案内の方法は/参加者一人一人が講師です。

12時～13時 お昼

13時から15時 定例総会

連絡先：ナイス福岡事務局 田村（090-8220-6160）



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2019年度会費が、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費：2000円 郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

今回の定例会は、令和元年7月12日（金）午後6時より事務局で行います。令和元年7月号の原稿は、7/9（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

◆◆◆

編集後記 2019年05月の定例発送会は、藤川渡、山本弘子、永松愛子、田村耕作が参加。

天声人語（6/2）に、「1945年6月に食べられる野草として

「新選・夏の七草」が発表された」との話が掲載されていた。

七種類を調べてみると、アカザ、シロツメクサ、ツユクサ、

ヒメジョオン、イノコズチ、ヒユ、スベリヒユでした。

ヒメジョオンが選ばれていることが意外でした。鑑賞用に

導入された北米原産の外来種で、どこでも見ることができる

キク科の植物と思っていたので、食べられるという視点がなかった。

どう食べられるか、おひたし、つくだ煮など色々あるようでした。

是非食べてみたいし、夏の七草も気にしながら、散策しようと

思いました。 田字草



2019年5月13日片江にて 撮影